

この商品は一般家庭で調理するために使用するものです。
「使用上の注意」等をよく読んでから使用してください。
不適切な取扱いは事故につながります。
又、取扱説明書は大切に保管してください。

警告

- 空だきはしないでください。
 - 加熱中は火元を離れないでください。
- 火災の原因になります。

使用前の準備

- 取っ手の取り付けに破損やガタツキなどがないか安全を確認してから使用してください。
- 本体に付いているラベルを取ってください。
- 流通段階での錆を防ぐために、全面にクリアラッカー塗装を施してあります。ご使用前に塗装を落としてください。その後、油を多めに入れてくず野菜を十分に炒めて、油をなじませてください。

塗装の落とし方

1. 食器用洗剤を付けたスポンジで洗い、表面のほこりや汚れを落とし、水気を拭き取ってください。
 2. 洗ったフライパンをコンロのごとくにのせ、中火で加熱します。
 3. フライパンが熱くなってきたら火を強め、中央から側面まで移動させながら全体に青っぽい色になるまで焼いてください。
- ※塗装が焼ける際、煙と臭いが発生しますので、しっかり換気を行ってください。
※空焼きとなり、大変熱くなりますので、火傷に十分注意してください。
※Siセンサー付のガスコンロの場合は、途中で火が小さくなったり、途中消火する場合があります。

警告

安全にご使用いただくために

- 熱源を入れて「強」で加熱されますと急激に鍋底を加熱し、引火点に達することがあり少量の油を入れた時、引火する危険があります。又、油がこげついたり、鍋底が変色(焼)や熱膨張により変形(凹凸やガタツキ)する原因になります。火力の調節(中以下)を行ってください。

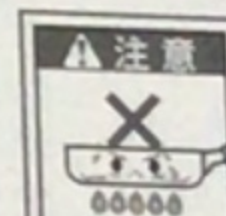
注意

安全にご使用いただくために

- 電磁調理器には使用できません。
- 調理中や調理の直後は本体が熱くなっています。火傷の危険がありますので注意してください。又、幼児の手に触れないようにしてください。
- 加熱器具の中央部にのせて安定させて使用してください。
- 炎が鍋の底面からはみ出さないよう使用してください。炎により取っ手が熱くなり危険です。
- 隣接するコンロの炎が取っ手に当たらないよう向きを調整してください。
- なべの中に料理を保存しないでください。錆の原因になります。錆の原因になりますので他の容器に移してください。



- 取っ手は金属製ですので熱くなり火傷の危険があります。必ずミトン等を使用し、火傷に注意してください。
- 取っ手がぐらつくものは使用しないでください。脱落して火傷の危険があります。
- 取っ手の破損に対し、改造や応急処置等の手当てをして使用することは危険ですのでやめてください。
- 空だきはしないでください。火災や本体の変形、取っ手の破損の原因となります。
- アクの強い材料を調理されますと、料理や汁等が変色することがあります。アク抜きを十分に行ってから調理してください。
- 油の過熱により火災の危険があります。調理中に場所を離れる時は必ず火を止めてください。
- 油がなじむまで、料理によってはこびりつくことがあります。お手入れ後は必ず油を塗って保管してください。
- 水を入れて加熱沸騰すると、錆びる原因になります。すぐにお手入れし、油を塗って保管してください。
- 調理の際は、油の温度が200度以上にならないようにしてください。
- 落としたり、ぶつける等の急激な衝撃を与えないでください。
- 空だきをした場合に水等をかけて急冷しないでください。変形の原因になります。
- ストーブの上では使用しないでください。
- オープン・電子レンジでは使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- お使いの加熱器具の取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。



お手入れについて

- 使用後は熱いうちにたわしや竹のササラ等を使って、お湯で洗ってください。その後、早めに水気を拭き取って乾燥させてください。
- 汚れがひどい場合は、食器用洗剤を付けてスポンジ等で洗い、よく乾燥させた後、早めに全体に油を塗って保管してください。
- 錆を防ぐため、必ず油を塗って保管してください。
- こげつき等を落とす際は金属製の固いものを使用しないでください。熱湯に浸してこげつきを柔らかくしてから取り除いてください。
- 塩分や酸等を含んだ汚れを付着したまま放置したり、湿気の多い場所での保管は錆発生の原因になります。
- 置き洗いや食器洗い乾燥機には使用しないでください。錆の原因になります。
- 錆が発生したときは、錆を洗い落とし水気を拭き取って油を塗ってから保管してください。

絵表示は一般的な注意事項を示すものであり、
実際の形状と異なります。